

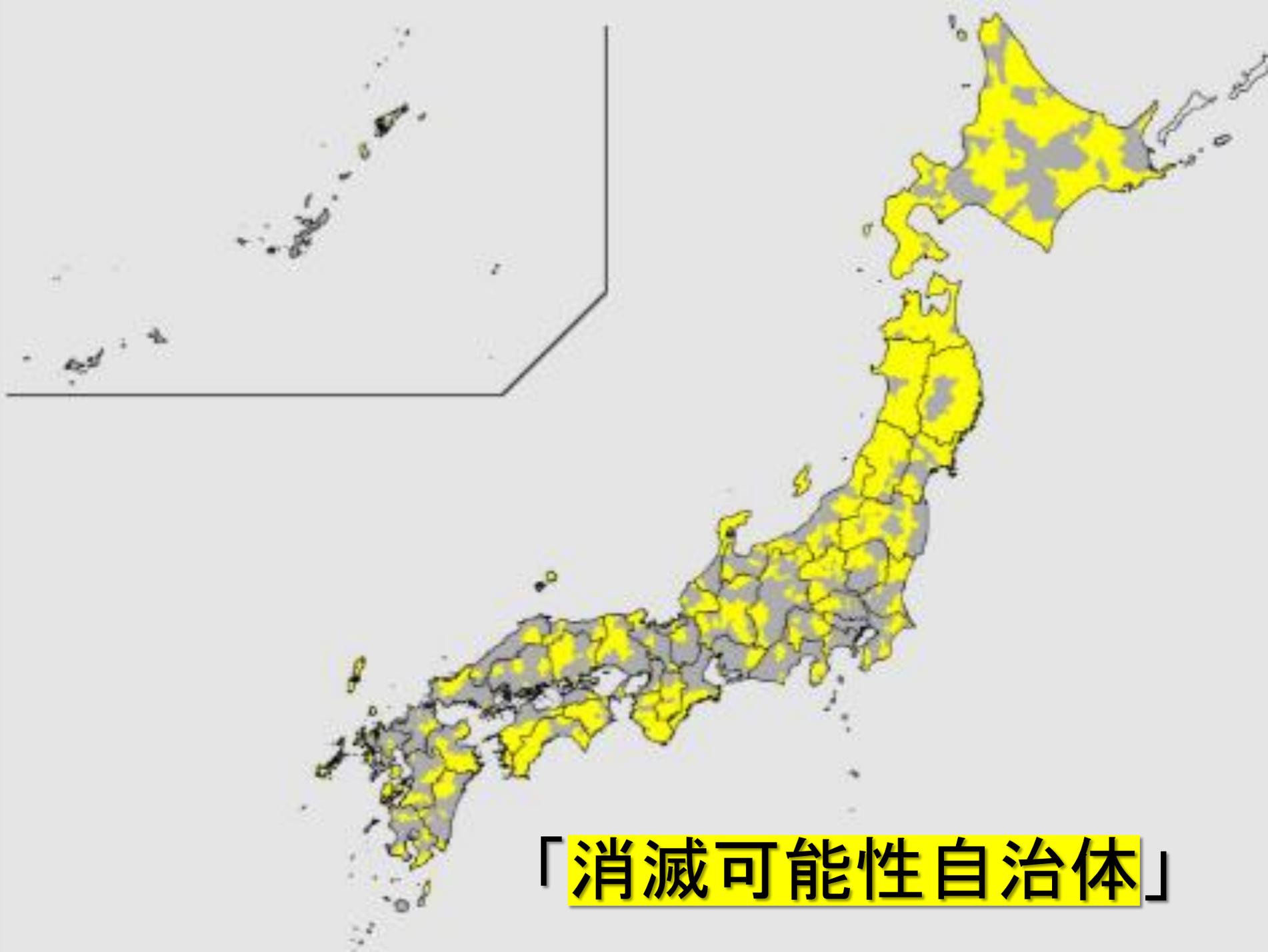
さよなら日本

シリーズ～さよならキリスト教～

2024/9/22

「消滅可能性自治体」が4割

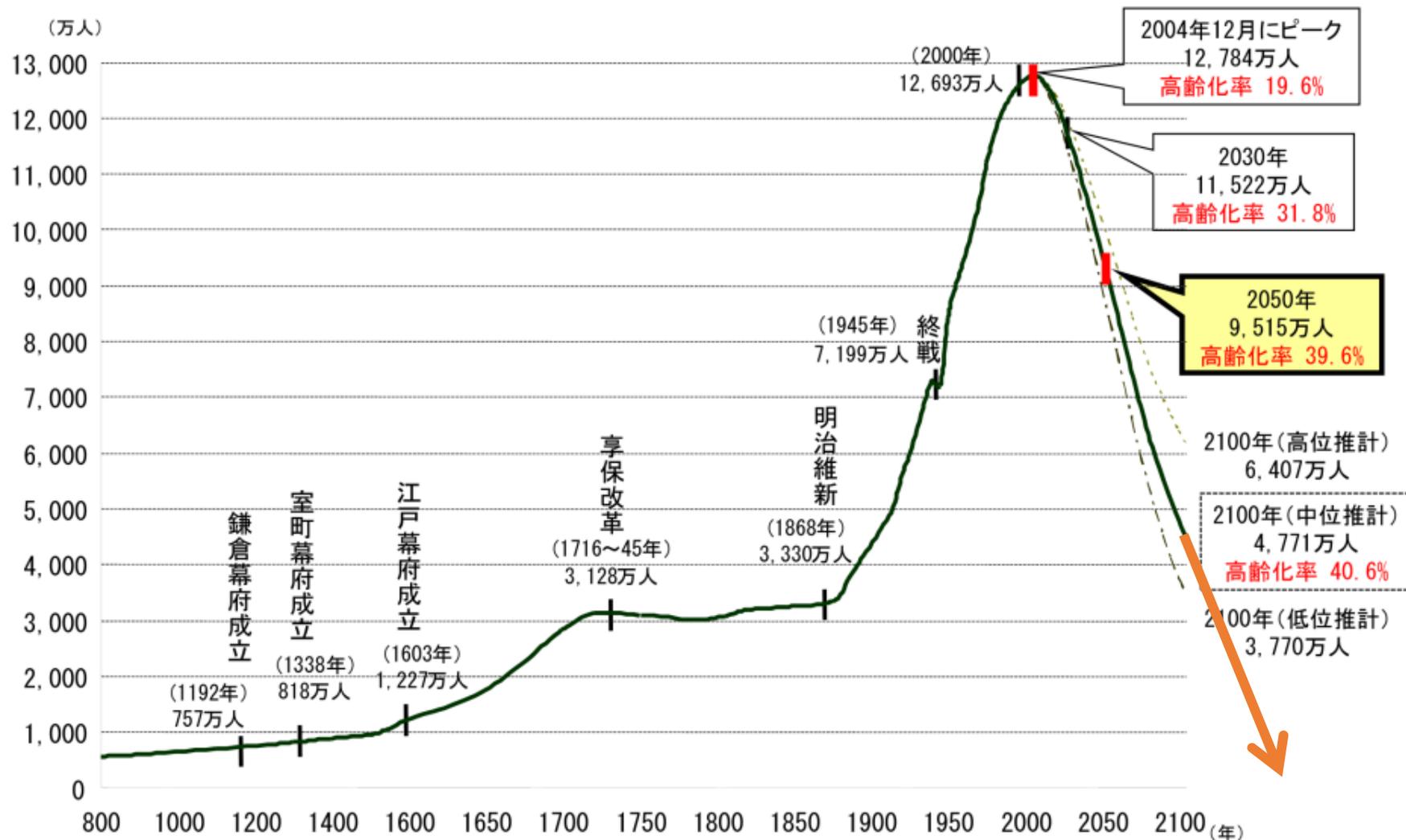
- 「人口戦略会議」(民間の有識者グループ)による試算(4月24日)
 - 日本全体の**4割**にあたる744の自治体で、2050年までに20代から30代の女性が半減し、「**最終的には消滅する可能性がある**」とした分析を公表
- 都市部は比較的若い女性が多いが、実は他の自治体からの流入に頼っている
 - 他の自治体から吸い込んでいるので「ブラックホール型自治体」と呼べる
- 子どもが生まれない社会
 - 2023年の合計特殊出生率(女性一人が産む子どもの人数)は**1.20**!



「消滅可能性自治体」

我が国における総人口の長期的推移

○ 我が国の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前（明治時代後半）の水準に戻っていく。この変化は、千年単位でみても類を見ない、極めて急激な減少。



「消滅可能性国家」日本

•これから始まる急激な人口減

- 「我が国の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前（明治時代後半）の水準に戻っていく。この変化は、**千年単位でも類を見ない、極めて急激な減少**」（総務省）

•2050年には40%が高齢者

- 26年後の2050年には、全人口9515万人、その内約40%が高齢者！（4割が単独世帯）

•今年生まれた子どもが後期高齢者になる頃

- 高位推計で6407万人・中位推計で**4771万人**・低位推計では**3770万人（現在の1／3）**

これから起こること

• 貧しい社会

- GDP(国民総生産)は激減し、年金制度そのものも怪しくなる

• 不便な社会

- 税収減少による生活関連サービスの縮小や行政サービスの廃止・有料化

• 国土の荒廃

- 無人地帯の増加、橋や道路などの荒廃、空き家の増加、野生動物の増加…

• 医療・介護サービスの低下(破綻?)

「人口戦略会議」の提言

「人口ビジョン2100—安定的で、成長力のある『8000万人国家』へ—」

★遅れを挽回するラストチャンス

国民の意識の共有

若者、特に女性の最重視

世代間の継承・連帯と『共同養育社会』づくり

豊かで幸福度の高い社会

多様なライフスタイルの選択が可能

存在感と魅力のある国際国家

堀川寛の提言

- 1つの神・1つの基準を持つ
 - 天地創造の神を信じ、聖書を基準とする
- 自国の利益より他国の利益を優先する
 - 「受けるよりは与える方が幸い」な国
- 「教会」を中心としたコミュニティ作り
 - イエス・キリストを頭とし、互いに尊重しあって成長する
- 真の愛による人間関係・家族作り
 - キリストによって示された無条件の愛を基として結びつく

大切なことは何か？

•「国」を残すことではない

- 「国」とは人間が勝手に作った区分けに過ぎない
- そもそも人類は同じ人間である

•正しいビジョンを描く

- 「**幻がなければ民は墮落する。**」箴言29:18

•人間の存在目的を明確にする

- 「進化論」では生存することが目的
- 聖書は**創造主の栄光を現す**ことが目的だと語る
 - 「あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。」 コリント一6:20

世界の終わり

そして更に言われた。「民は民に、国は国に敵対して立ち上がる。そして、大きな地震があり、方々に飢饉や疫病が起こり、恐ろしい現象や著しい徴が天に現れる。」

<ルカ21:10-11>

残るのは神の言葉

草は枯れ、花はしぼむ。

主の風が吹きつけたのだ。

この民は草に等しい。

草は枯れ、花はしぼむが

わたしたちの神の言葉はとこしえに立つ。

イザヤ書40章7～8節